

# 第3次

## 小山市生涯学習推進計画

---

OYAMA まなびかがやきプラン

～学んで育む“輝くひと・まち、結ぶ絆”～

概要版



令和4年4月

小 山 市

この概念図は、小山市生涯学習推進計画の目指す市民のすがた、基本理念、方向性、施策の体系を記した、第3章「計画の基本的考え方」をわかりやすく図示し整理したものです。

## 第3次小山市生涯学習推進計画概念図

### ～目指す市民のすがた～

いきいきと学び 積極的につながり主体的にまちづくりに参画する市民



第3次小山市生涯学習推進計画(OYAMA まなびかがやきプラン)

### ～基本理念～

学んで育む “輝くひと・まち、結ぶ絆”

### ～「小山市の生涯学習」の4つの方向性～

#### 学ぶ

・市民一人一人の個性や能力を伸ばす生涯学習の推進

#### つながる

・多様な市民どうしのふれあいや交流を促す生涯学習の推進

#### 活かす

・市民の学びが地域で活かせる生涯学習の推進

#### 支援する

・市民一人一人が故郷に愛着を持ち、地域の持続的発展を図る生涯学習の支援体制の充実

### ～4つの方向性の「関連図」～



### ～「施策の体系」～

#### 基本目標Ⅰ

生涯にわたる学びの機会の充実

- 1 ライフステージに応じた学習機会の充実
- 2 人権が尊重される共生社会の実現に向けた多様な学習機会の充実

#### 基本目標Ⅱ

学びあう機会の充実

- 1 市民と行政のパートナーシップの推進
- 2 地域教育力の向上

#### 基本目標Ⅲ

学びを活かした地域づくり

- 1 学びの成果を活かす取組の推進
- 2 ふれあいや交流を通じた地域づくりの促進

#### 基本目標Ⅳ

生涯学習推進の基盤づくり

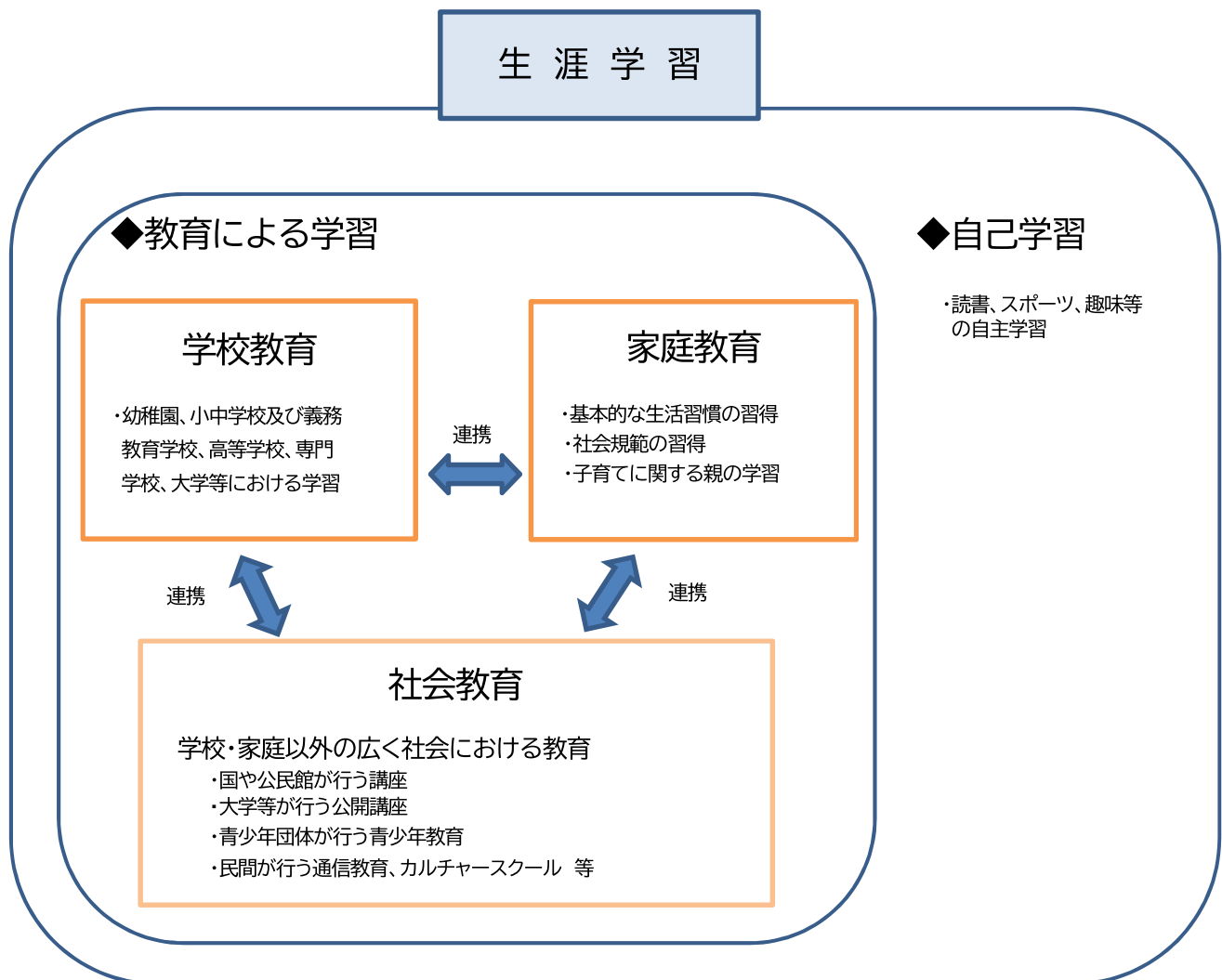
- 1 生涯学習関連施設の機能の充実
- 2 人と人、人とまちをつなぐコーディネート機能の充実

## 計画の策定にあたって

### 生涯学習とは

生涯学習とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習のことです。その概念を図式化すると、下図のようになります。

生涯学習には、一人一人の人生を、生きがいのある充実したものにするだけでなく、学びを通じて人と人とが交流し、学んだ成果が適切に評価されることで幸せや誇りを感じ、住みよい豊かな地域社会の構築に大きな役割を果たすことが期待されています。小山市は、今後も教育の出発点である家庭教育をはじめ、学校教育、社会教育の三者が連携しながら、市民一人一人がライフステージに応じて豊かに学び合い、互いに輝き合えるよう学習機会の充実を図り、生涯学習社会の実現に向けて取り組んでいきます。



## 計画の趣旨

小山市では、平成 28(2016)年3月に「第2次小山市生涯学習推進計画」を策定し、「学んで育む“ひと・まち・絆”」を基本理念に5年間にわたり生涯学習に関する各種施策を実施してきました。しかし、策定以降、少子高齢化をはじめとする環境の変化を背景に、地域社会が抱える課題が多様化・複雑化してきており、その対応が求められています。このような社会環境の変化に柔軟に対応し、健康で生きがいのある生活を送るためには、地域の活動と関わりを持ち、生涯にわたって学び続け、時代の変化に応じた知識や技術等を獲得していく生涯学習を推進していくことが必要です。「第3次小山市生涯学習推進計画」は、これまでの取組による成果や課題を振り返り事業の見直しを行い、誰もが学びたい時に学べるよう支援していくとともに、学んだことを地域社会で活かす活動を進めるための指針として策定するものです。

## 計画の期間

本計画の期間は、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間です。

## 計画の目標

第3次小山市生涯学習推進計画では、生涯学習社会の推進に向けて、その基本的方向性を示す「4つの基本目標」を設定しました。

### 学ぶ

#### ◆基本目標Ⅰ 生涯にわたる学びの機会の充実



### つながる

#### ◆基本目標Ⅱ 学びあう機会の充実



### 活かす

#### ◆基本目標Ⅲ 学びを活かした地域づくり



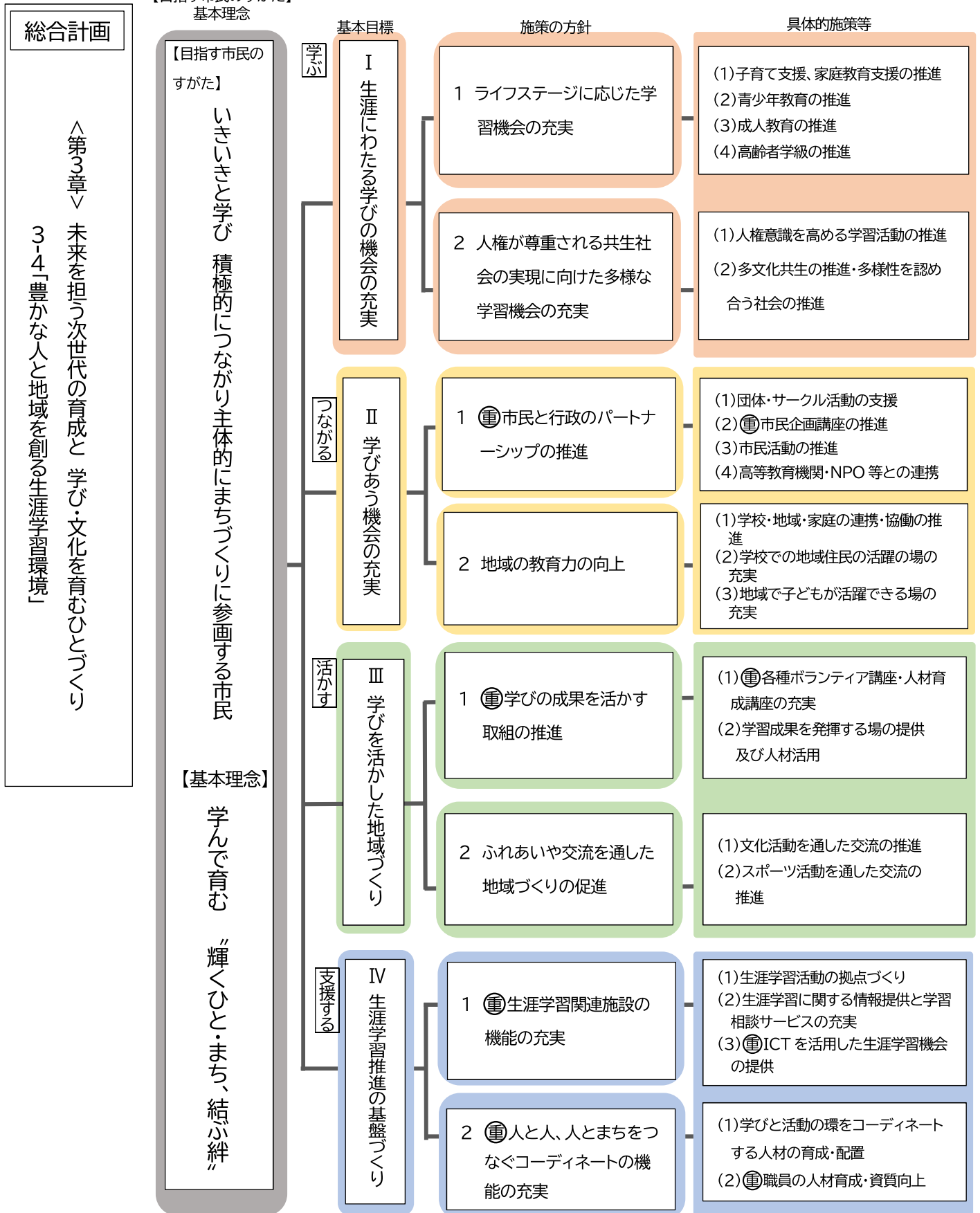
### 支援する

#### ◆基本目標Ⅳ 生涯学習推進の基盤づくり



# 計画の体系

(凡例) ㊦ = 重点事業



総合計画

△第3章▽ 未来を担う次世代の育成と 学び・文化を育むひとづくり

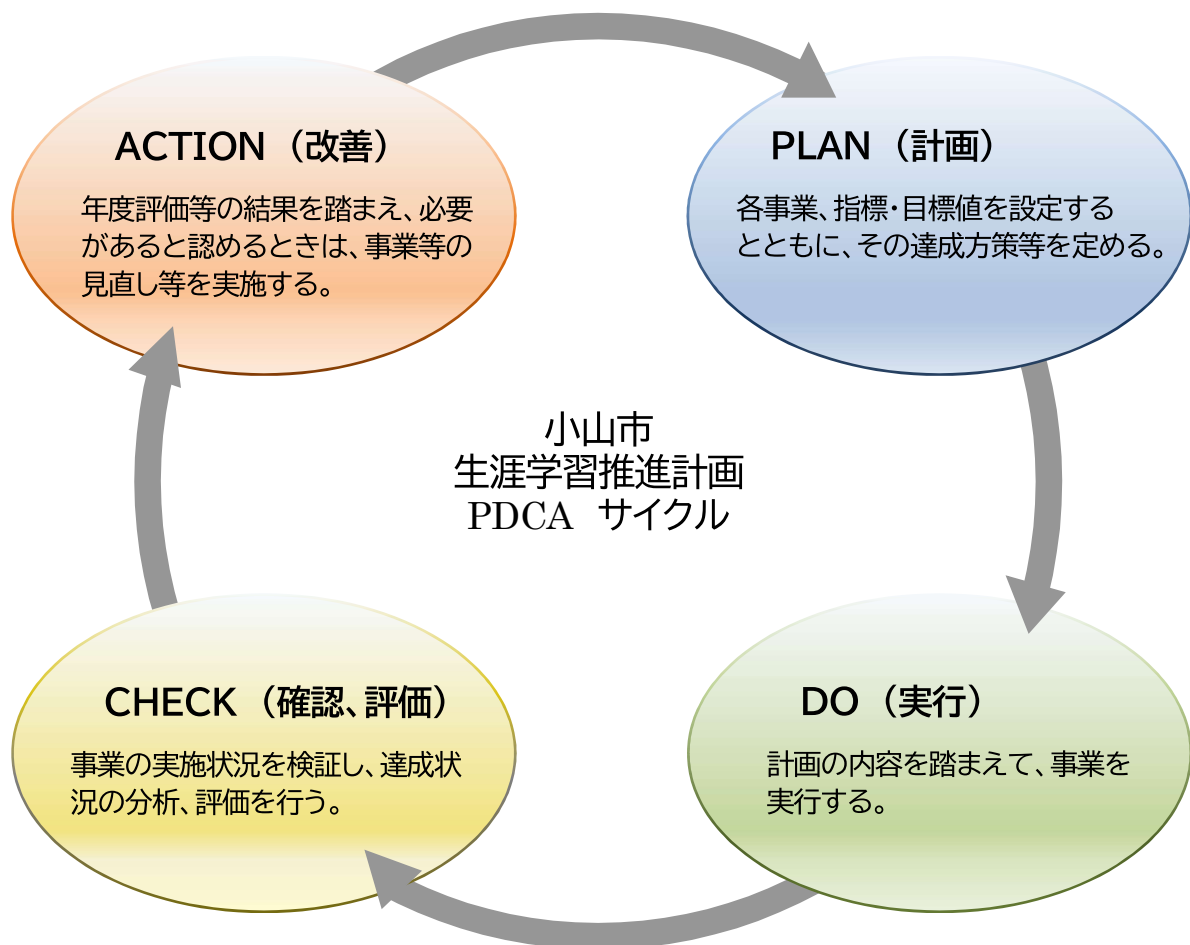
3-4 「豊かな人と地域を創る生涯学習環境」

## 計画の点検・評価

小山市生涯学習推進計画の推進にあたっては、各年度において計画に基づく施策の実施状況を把握・点検し、その結果をその後の対策の実施や計画の見直し等に反映させていきます。

本計画では、関係各課による施策・事業に関する事務事業評価を行うとともに、PDCA サイクルによる効果的な進行管理を行います。

### ■PDCA サイクルのイメージ図



## 成果指標一覧

市民がそれぞれに身につけた多様な学びで、「ひと」、「まち」がつながり、そして「未来」へとつながる新たな学習の輪を広げ、持続可能なまちづくりの実現に向け、施策を総合的に推進するための指標を設定します。

基本目標	項目	現状値 令和2(2020)年度	目標 令和8(2026)年度
Ⅰ生涯にわたる 学びの機会の充実	青少年健全育成事業における満足度	90%	95%
	おやま市民大学受講者満足度	79%	85%
	人権に関する研修会・講演会参加者満足度	81%(R1)	90%
Ⅱ学びあう機会の 充実	おやままちづくり出前講座開催数	400件(R1)	430件
	学校運営協議会設置校数	23校	35校
	地域学校協働活動の実施校数	23校	35校
	放課後子ども教室実施箇所数	4箇所	6箇所
Ⅲ学びを活かした 地域づくり	おやま市民大学での人材育成講座参加者数	133人	170人
	ボランティアガイド講座終了後のガイド登録率	40%	60%
	市民文化祭参加者及び入場者数	21,808人(R1)	23,000人
	文化センター施設利用率	75%(R1)	80%
	車屋美術館観覧者満足度	96%(H30)	98%
Ⅳ生涯学習推進の 基盤づくり	生涯学習指導者の登録者数	239人	250人
	市内で活躍している地域コーディネーターの人数	31人	45人
	小山市職員の社会教育士養成者数	0人	10人

## SDGs

平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」は経済・社会・環境の三側面の取組により、「地球上の誰一人取り残さない」ことをスローガンに、令和12(2030)年を期限とした17のゴール(意欲目標)と169のターゲット(行動目標)、232の指標で構成された、先進国も途上国も目指すべき国際社会共通の目標です。



### 第3次小山市生涯学習推進計画

発行年月 令和4年4月

発行 〒323-8686

小山市中央町1-1-1

小山市教育委員会生涯学習課

電話 :0285-22-9665

Fax :0285-22-9650

E-mail : [d-gakusyu@city.oyama.tochigi.jp](mailto:d-gakusyu@city.oyama.tochigi.jp)